

ぼうさい みくまじろ



No.7

H28. 9. 12 発行

みくまの支援学校
育友会 防災研修部

第2回 育友会役員会 県への要望事項を検討!



9月8日(木)、第2回育友会役員会が行われました。その中で、育友会からの県への要望事項について検討しました。本校として要望する事項として「大規模災害から子どもの命を守る取組」を一つの柱としました。その詳細について、以下に掲載しています。昨年度は、スクールバスのIP無線機導入を要望し、予算を確保することができました。



第2回役員会の様子 (H28.9.8)

- (1) 南海トラフ等の震源域に近く、甚大な被害が想定されている学校区の防災対策を。
- (2) 通学路やスクールバス運行コースに安全な避難場所及び経路の確保を。
- (3) 校舎内天井落下防止対策を。

- (4) 校区内各地域に、障害者が安心して使用できる避難施設(福祉避難所)の確保を。
- (5) 子どもたちが地震・津波から身を守るための分かりやすい学習資料(家庭で使えるもの)の提供を。
- (6) 防災備品、食糧・飲料水などの備蓄品購入のための予算確保を。

参加検討中!!

11月6日に開催します!
「新宮市防災フェア」
(総合防災訓練)

体験コーナーや防災出前講座、
炊き出しなど
さまざまな楽しいブースで
気軽に「防災」に触られます!
ぜひ、会場へお越しください

日時 11月6日(日)
午前9時~12時 ※雨天中止
場所 緑丘中学校グラウンド・体育館

☆防災フェアは、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えるため、市民一人一人の防災意識を高めることを目的として実施します。



平成18年の訓練の様子

『広報新宮』(2016年9月号)より

新宮市では、5年に一度大規模な防災訓練を実施しています。前回(5年前)は、紀伊半島大水害のため中止されました。今回、本校育友会(学校と共催)もブースを設け、本校の取組紹介について検討しています。

防災の先進校を視察 三重県教育委員会職員等来校!



8月25日(木)、三重県教育委員会職員と三重県内の特別支援学校の先生方が、本校を訪れ、研修会を行いました。本校の防災の取組について学んだあと、情報交換等をおこないました。

三重県内の特別支援学校でも、本校のように「福祉避難所」について検討しているようです。



本校の榎本校長先生が「子どもの命を守る取組」として講演をおこないました。



蛍光管の落下防止の工夫やセーフティゾーン等について施設見学を行いました。



避難する時の様子をデモンストラーションを交えて説明しました。

みくまの方丈記 ⑤ ～災害を力を合わせ生き抜く～



榎本校長先生による特別寄稿です。

みくまの支援学校は新宮市から福祉避難所の指定を受け、平成27年3月2日、田岡市長と協定書を交わした。対象は、主に知的障害または肢体不自由等がある災害時要援護者。そして、その親族等当該要援護者の安定した避難生活に寄与すると認められる者。であり、利用には年齢等の制限は設けていない。一般の避難所に避難したくても出来ず、車の中で避難生活を送らざるを得ない状況を何とかしたいと思っていた。対象となる方々の支援に必要な法的根拠も整った。新宮市の誠意ある迅速な対応に感謝したい。

大災害を生き抜くだけでも大変な試練であるが、こんな時こそみんなで力を合わせて乗り切っていくことが重要である。できればこの逆境を子どもたちの成長の場としたいし、出来ると考えている。100年前に大島の人々は、救助や看護に伴う多大なる労苦を厭わなかった。結果、何よりも大切なものを得た。それは溢れんばかりの自己肯定観と明日を生き抜く力であったと思う。